

アグリサポート美馬 徳島県美馬市

基本情報

- 気候 年平均気温15.2度
- 土質 吉野川流域の壤土
- 従事人数 9名
- 臨時雇用 1名
- 飼料用米の作付開始:H25年度

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	7ha	8a
飼料用米(移植)	20ha	8a
作業受託 (稲刈り等)	11ha	

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- 飼料用米の導入で栽培コストの削減及び経営面積の拡大
(知事特認品種「あきだわら」の導入により、田植え期間が5月中から7月上旬に拡大し、5haの経営面積拡大が可能)
- 飼料用米を地元養鶏業者へ供給し、流通コストの削減

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- 農薬(飼料用米)
主食用米の防除は慣行では3回行っているが、飼料用米は1回のみ(箱施用剤)に回数を削減
- その他
 - ① 出荷規格を30kgから500kgフレコンに変更による輸送性の向上
 - ② 飼料用米を地元養鶏業者へ供給し、貯蔵・流通コストの削減

導入効果

- 防除(飼料用米)
農薬費 ▲6割
労働時間 ▲0.4割
(主食用米の慣行防除との比較)

支援体制

- 徳島県、美馬市、JA美馬等関係機関で「にし阿波飼料用米生産流通研究会」を組織し、飼料用米の栽培から飼育した鶏肉のブランド化まで幅広く情報交換を実施
- アグリサポート美馬はJA美馬の出資会社であり、連携した活動を実施

課題・今後の目標

- 肥料代を削減するため、鶏糞の利用を検討
- 飼料用米収穫後のワラを畜産農家に供給する体制の整備



現地検討の様子

フレコン出荷の様子